

介護未経験者等マッチング機能強化モデル事業

企画提案書の課題等

■事業の目的

- ①未経験者等でも担える業務切り出し等を通じ、介護事業所（求人者）の業務の見直し・効率化を目指す。
- ②これまで介護に関わりのなかった層（求職者）の介護現場への接点を増加させることで、介護人材のすそ野を広げる。
- ③マッチングの好事例集等の作成によりモデル化し、横展開を図る。

■現状、課題

- ①介護事業者は、日々の業務に追われ、業務の見直しや効率化を行うことができず、介護未経験者や短時間労働者の活用ができない。
- ②介護職に興味がない、気軽に関わる機会がない。
- ③横展開が図れるようなモデルがない。

■事業内容（例）

- ①介護事業所向け（求人者）への取組
 - ・介護事業者への周知・参加促進の説明会開催
 - ・介護事業者への業務切り出し等に関する伴走支援
 - ・求人者の登録支援
- ②介護未経験者等向け（求職者）への取組
 - ・介護未経験者等への周知・募集活動（ターゲットに合わせた効果的な広報や学生向け有償インターンシップ等の体験企画も含む）
 - ・マッチング支援の実施
- ③モデル化への取組
 - ・KPI の設定と効果検証
 - ・好事例集の作成

■事業の成果目標

- ①介護事業所による業務の効率化及び「スポットワーク」モデルの確立。
➡業務切り出し等に関する伴走支援を行ってマッチングシステム登録をした事業所数 20 件など
- ②実際に介護の仕事を体験してもらうことで興味を持ってもらう。介護の仕事を今後の「スポットワーク」等の選択肢にしてもらう。
➡マッチングシステム登録者数 200 件、アンケート調査等によるマッチングシステム満足度 80%以上など
- ③ノウハウのない介護事業所が見ても分かりやすい好事例集（パンフレット）の作成